

第76期(中間期)

株主通信

2011年4月1日 - 2011年9月30日



自然と健康を科学する

目次

- P1 ● ごあいさつ
- P2 ● 事業概況
- P5 ● 連結財務諸表
- P6 ● ～特集～
日本国内における生薬栽培 一タ張編～
- P7 ● 漢方製剤への高まる期待
～海外医学会における動向～
- P8 ● 複数の症状に対応できる漢方製剤
- P9 ● よくあるご質問
～皆様からいただくお問い合わせ～
- P10 ● 会社の概要・株式の状況



ごあいさつ

本年3月11日に発生しました東日本大震災により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

また、被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第76期(2011年4月1日から2012年3月31日まで)は「漢方・生薬事業に特化した新たなステージの展開」と位置付けた中期3カ年経営計画の最終年度にあたります。当第2四半期におきましては、東日本大震災により主力工場であります茨城工場が一時期操業停止を余儀なくされ、製品を安定的に供給できるようになるまでの間、一部製品の出荷数量を調整せざるを得ませんでした。加えて、ツムラのプロモーションの要である各種の漢方医学セミナーや医局説明会等が出荷調整のために計画どおりに開催できなかったこと等も影響し、売上高、利益ともに従来予想を下回りました。しかしながら、前年同期に比べ、売上高、営業利益、経常利益は増収増益を確保することができました。

医療用漢方製剤の需要は回復基調にあり、各種プロモーション政策も従来に増して展開しており、市場占有率も9月末には、ほぼ震災前の水準に戻りつつあります。今後も「漢方医学の確立」に向けたさまざまな活動や、医療用漢方製剤のエビデンスの確立を目指した「育薬の推進」などの諸施策に鋭意取り組んでまいります。

また、当社は、原料生薬の栽培・調達段階から製造・出荷、流通まで、一貫したトレーサビリティ体制、安全性の担保および高品質の実現のため、厳格な自主基準のもとに品質管理体制を確立しており、引き続き、良質な漢方製剤等の安定的な供給に努めてまいります。

当社は「自然と健康を科学する」という経営理念の下、「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献する」ことを使命として活動しております。

また、株主様への利益還元を会社の重要な政策と位置づけ、設備投資や毎期の業績、配当性向などをふまえ、増配を基調に安定配当を実施させていただく方針であります。当第2四半期末の中間配当金は、前年同期と比べ2円増額の1株当たり30円いたしました。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

芳井 順一



事業概況

1 経営方針

当社は、「自然と健康を科学する」という経営理念の下、「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献する」ことを目標として掲げております。

この目標を実現するため、「漢方」への重点化と集中化を進め、漢方メーカーであることの独自性を最大限に活かし、医療の分野で確固とした地位を築いてまいります。

当社は2009年5月、漢方事業を通じ、「社会や人々のお役に立てる企業」「人に優しい企業」であることを、事業を行う上での基本基調といたしました。

自然の恵みである生薬の栽培を起点とした循環型事業サイクルの確立を目指す企業として、今後も自然環境や地域社会との共生に経営の重点を置くことはもちろん、障がい者の方々をさらに積極的に雇用し、より働きやすい職場環境を提供してまいります。

2 業績の概要

①連結業績

当第2四半期連結累計期間(2011年4月1日から2011年9月30日まで)の売上高は、前年同期に比べ1.1%増の458億6千2百万円となりました。利益につきましては、営業利益98億3千1百万円(前年同期比0.2%増)、経常利益99億1千1百万円(前年同期比0.9%増)、四半期純利益51億4千1百万円(前年同期比13.1%減)となりました。

売上高、営業利益、経常利益につきましては、従来の業績予想を下回りましたが、前年同期に比べいずれも微増となりました。これは、東日本大震災により操業を停止した茨城工場は5月10日に全面復旧いたしました。製品を安定的に供給できるようになった6月下旬までの間、一部の製品の出荷数量を調整してきたことに加え、各種の漢方医学セミナーや講演会・研究会等が計画どおりに開催することができなかった等の影響によるものと考えております。

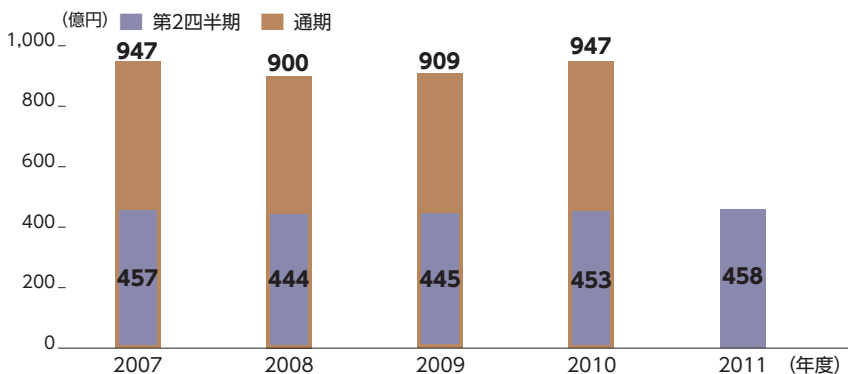
(単位:百万円)

区 分	前第2四半期 (2010年度)	当第2四半期 (2011年度)	増減額	前年同期比
売 上 高	45,375	45,862	487	1.1%
営 業 利 益	9,811	9,831	19	0.2%
経 常 利 益	9,818	9,911	92	0.9%
四 半 期 純 利 益	5,913	5,141	△771	△13.1%
医療用漢方製剤 129処方売上高合計	42,757	43,431	673	1.6%

ワンポイント解説

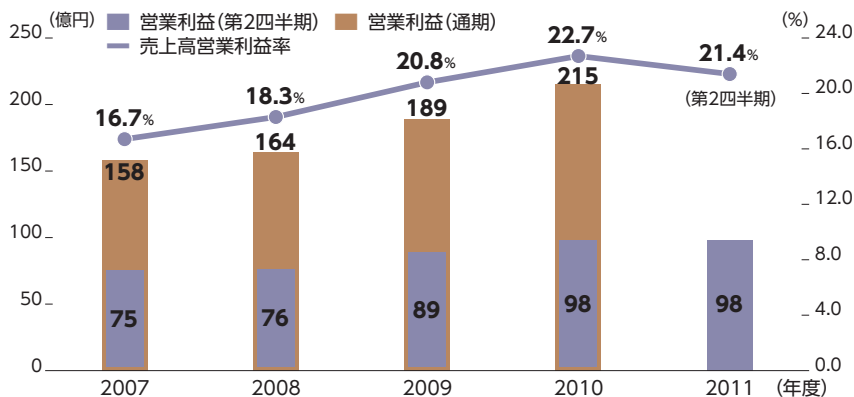
四半期純利益は、震災による災害損失2億9千8百万円と投資有価証券評価損6億7千1百万円を特別損失として計上したことなどにより減益となりました。

■売上高



2008年度には、ツムラライフサイエンス株式会社の株式譲渡、また、医療用外用抗真菌剤「アスタット」の製造販売権を譲渡しております。

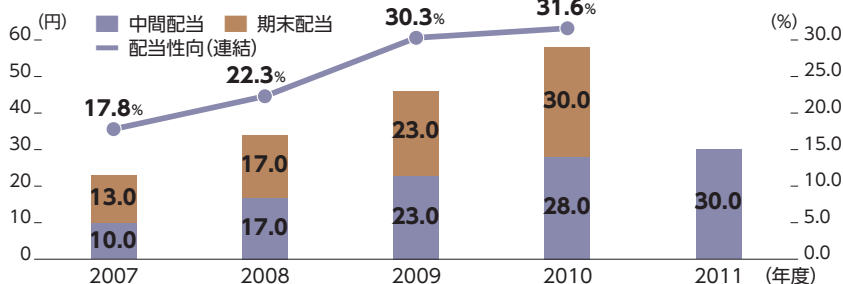
■営業利益／売上高営業利益率



②配当について

2012年3月期中間配当金は1株当たり30円といたします。また、期末配当予想も30円といたします。

■配当金の推移



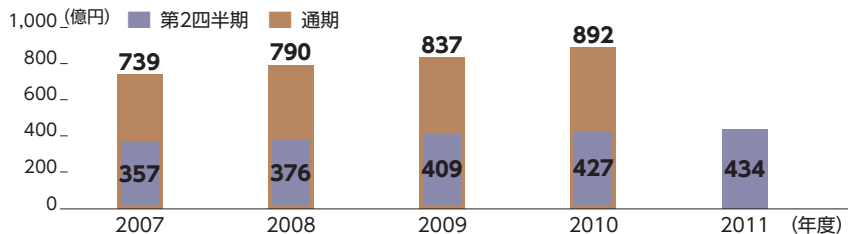
③医療用漢方製剤の概況

■医療用漢方製剤 売上高上位10処方

(単位:百万円)

処方名	主に使われている疾患・症状	前第2四半期 (2010年度)	当第2四半期 (2011年度)	増減額	前年同期比
1. 大建中湯 (だいけんちゅうとう)	イレウスに伴う腹痛、腹部膨満感 など	3,889	4,055	166	4.3%
2. 補中益気湯 (ほちゅうえききとう)	術後の体力増強、食欲不振 など	3,109	2,967	△142	△4.6%
3. 六君子湯 (りっくんしとう)	胃炎、食欲不振、機能的胃腸症 など	2,481	2,529	48	1.9%
4. 抑肝散 (よくかんさん)	神経症、認知症にみられる周辺 症状 など	1,856	2,298	441	23.8%
5. 加味逍遙散 (かみしょうようさん)	更年期障害に伴う様々な症状 など	1,807	1,826	18	1.0%
6. 牛車腎気丸 (ごしゃじんきがん)	頻尿、腰痛、しびれ など(糖尿病性神 経障害、抗がん剤の副作用緩和 など)	1,748	1,769	20	1.2%
7. 芍薬甘草湯 (しゃくやくかんぞうとう)	筋肉のけいれんを伴う痛み など (こむらがえり など)	1,667	1,731	64	3.8%
8. 柴苓湯 (さいれいとう)	浮腫を伴う疾患、急性胃腸炎 など	1,730	1,726	△4	△0.2%
9. 麦門冬湯 (ばくもんどうとう)	咳 など(感冒、気管支炎 など)	1,551	1,453	△97	△6.3%
10. 防風通聖散 (ぼうふうつうしょうさん)	肥満症、むくみ、便秘 など	1,217	1,260	42	3.5%
医療用漢方製剤129処方合計		42,757	43,431	673	1.6%

■医療用漢方製剤129処方売上高



ワンポイント解説

育薬処方である「大建中湯」「六君子湯」「抑肝散」「牛車腎気丸」「半夏瀉心湯」の5処方合わせた売上高は、震災の影響を受けながらも、前年同期に比べ6.8%伸びました。

お電話による質問等ははこちらから

お客様相談窓口：0120-329-930 または 03-5574-6600

※受付:午前9時～午後5時30分

(土・日・祝日および弊社休業日は除きます)

※服用すべき漢方製剤の助言等、漢方相談はいたしておりませんので、ご了承願います。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2011年3月31日現在)	当第2四半期末 (2011年9月30日現在)	増減
資産の部			
流動資産	79,068	79,920	852
固定資産	62,481	63,975	1,493
有形固定資産 Point 1	42,154	43,873	1,718
無形固定資産	250	228	△ 21
投資その他の資産	20,076	19,873	△ 203
資産合計	141,549	143,896	2,346
負債の部			
流動負債	41,807	40,724	△ 1,082
固定負債	8,587	8,655	68
負債合計	50,394	49,380	△ 1,014
純資産の部			
株主資本	91,120	94,145	3,025
その他の包括利益累計額	△ 1,263	△ 975	288
少数株主持分	1,298	1,344	46
純資産合計	91,154	94,515	3,360
負債純資産合計	141,549	143,896	2,346

Point 1

漢方製剤の需要増に備えた設備投資に伴う増加。
茨城工場におけるエキス粉末製造工程が本年9月に稼働し、エキス粉末の生産能力は、4,050t/年(22%増)となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	増減
売上高	45,375	45,862	487
売上原価	14,017	14,167	149
売上総利益	31,357	31,695	337
販売費及び一般管理費	21,545	21,864	318
営業利益	9,811	9,831	19
営業外収益	345	350	4
営業外費用	339	270	△ 69
経常利益	9,818	9,911	92
特別利益	1	—	△ 1
特別損失 Point 2	45	1,027	981
税金等調整前四半期純利益	9,773	8,883	△ 890
法人税等	3,815	3,697	△ 118
少数株主利益	44	44	0
四半期純利益	5,913	5,141	△ 771

Point 2

特別損失においては、東日本大震災による損失2億9千8百万円を計上しております。主なものは、茨城工場操業停止期間における固定費などです。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,474	5,662
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,443	△ 3,123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,785	△ 3,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 22	39
現金及び現金同等物の増減額	△ 777	△ 567
現金及び現金同等物の期首残高	15,381	17,198
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,603	16,631

～特集～ 日本国内における生薬栽培 ー夕張編ー

医療用漢方製剤の中長期的な需要予測に基づき、昨秋夕張で播種(はしゅ)された育薬処方「抑肝散」の原料生薬の一つである川芎(せんきゅう)が今秋、収穫されました。夕張ツムラは、高齢化や過疎化による耕作放棄地を生薬栽培地として契約し、土地利用の活性化を図っています。また、生薬の栽培・加工はメロン栽培と時期がずれることから、農家の方の収入の安定化につなげることができます。夕張は、昨年度6haでスタートしました。北海道における栽培面積は、委託栽培も含め、今後10年以内に約1,000ha、生産量は2,000tに拡大する予定です。ここでは、夕張での川芎栽培の様子をご紹介します。



ー川芎の栽培ー

① 播種(植え付け)【昨秋】



② 育成 ※写真は7月下旬



③ 収穫【今秋】



■ 川芎



■ 収穫された川芎
根茎部を漢方製剤の原料として用います。

⑤ 選別



④ 乾燥



漢方製剤への高まる期待 ～海外医学会における動向～

ここ数年は、海外においても5つの育薬処方(大建中湯、六君子湯、抑肝散、牛車腎気丸、半夏瀉心湯)が注目されています。

例えば、上記5処方の論文掲載数でみると、2001年～2005年では23報でしたが、2006年～2010年においては98報と4倍ほどとなっています。同様に国際学会における発表数も同期間において、それぞれ60演題から279演題とこちらも4倍以上に増加しています。このことから、漢方製剤のエビデンス(科学的根拠)の集積が着実に進行していること、そして、海外からも漢方製剤に対する期待がますます高まっていることが分かります。



2011年度の米国消化器病週間(DDW)※において大建中湯や六君子湯に関する21演題、米国精神医学会(APA)※では抑肝散に関する2演題が報告されました。さらに、パシフィコ横浜で開催された万国外科学会(ISW)※においては、2009年の米国開催に引き続き、本年も一般演題として大建中湯、六君子湯、補中益気湯に関する3演題の報告があり、当社は「科学に対する自然の挑戦 経験から根拠に基づく治療」と題した大建中湯のランチョンセミナーを開催いたしました。

万国外科学会(ISW)2011

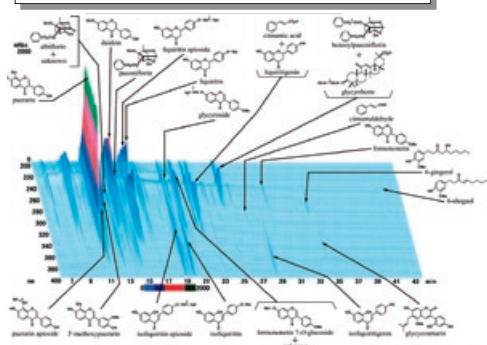
※米国消化器病週間(Digestive Disease Week; DDW):毎年米国で開催される消化器関連の学術集会
米国精神医学会(American Psychiatric Association; APA):1884年に創設された米国で最古の医学学会であり、米国での精神医学・精神保健領域で最も権威のある学会
万国外科学会(International Surgical Week; ISW):世界各国の医師・研究者が外科医療の最新の知見を発表・討論する国際会議

複数の症状に対応できる漢方製剤

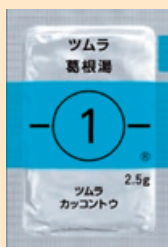
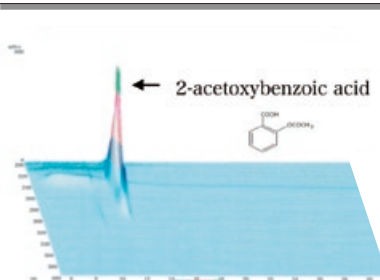
漢方製剤は複数の生薬などを原料とするため、複合・多成分であり、複数の症状に1剤で対応できる場合があります。一方、西洋薬(合成薬)は、基本的に単一成分であり、ひとつの症状に対して1剤が投与されます。

例えば「葛根湯(かっこんとう)」は、7種の生薬から作られ、効能・効果としては、「感冒」がよく知られていますが、それ以外に「肩こり」や「じんましん」の治療に使われることもあります。また、抗がん剤による末梢神経障害「しびれ」の軽減を目的としてエビデンスの集積を進めている「牛車腎気丸」は、「腰痛」や「頻尿」などの治療に使われることもあります。下の図は、葛根湯の含有成分を分析した3D HPLC フィンガープリントです。西洋薬Aのフィンガープリントと比べるとたいへん多くの成分が含まれていることがよく分かります。

TJ-1 葛根湯 3D HPLC フィンガープリント



西洋薬A 3D HPLC フィンガープリント



葛根湯(かっこんとう)

効能又は効果

自然発汗がなく頭痛、発熱、悪寒、肩こり等を伴う比較的体力のあるものの次の諸症:感冒、鼻かぜ、熱性疾患の初期、炎症性疾患(結膜炎、角膜炎、中耳炎、扁桃腺炎、乳腺炎、リンパ腺炎)、肩こり、上半身の神経痛、じんましん



牛車腎気丸(ごしゃじんきがん)

効能又は効果

疲れやすく、四肢が冷えやすく尿量減少または多尿で時に口渴がある次の諸症:下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ

よくあるご質問 ～皆様からいただくお問い合わせ～

皆様からよくお問い合わせいただく内容で、主なものをご紹介します。

その他漢方に関する詳細情報は、当社ホームページ、 を是非ご覧ください。

高齢者の疾患に漢方製剤は有効だと思うのですが？

人は年齢を重ねるごとに、心身の機能が低下し、病気が長期化したり、複数の症状を抱えたりすることも少なくありません。漢方は、高齢者に特徴的な身体の変化や不調に細かく対応できる治療と考えられます。超高齢化社会を迎えた今だからこそ、漢方が必要といわれているゆえんです。例えば、漢方製剤の中には「補剤（ほざい）」という、低下した体力や抵抗力を補う処方があります。その代表的な処方が「補中益気湯」です。補剤は、いずれも消化・吸収を高めることで、栄養状態を改善させたり、抵抗力・免疫力を活性化させたりします。高齢者の場合、こうした補剤をうまく使うことで体力や抵抗力の低下が改善され、QOL（生活の質）を高めたりすることが可能と考えられます。



漢方製剤には保険が適用されるのでしょうか、また専門医しか処方できないのでしょうか？

医療用漢方製剤には健康保険が適用されます。※また、医師であれば基本的には誰でも、漢方製剤を処方することができます。病気や症状によっては、西洋医学・西洋薬での治療が優先される場合もありますが、漢方治療をご希望の場合、まずかかりつけの医師にご相談ください。



漢方製剤とハーブ、アロマの違いはどこにあるのですか？

漢方製剤の原料は、天然物である生薬なので、ハーブやアロマと同類だとよく誤解されます。しかし、漢方製剤は医薬品であり、その効果は厚生労働省に承認されたものです。

一方、ハーブやアロマは民間療法の一つで、漢方製剤のように一定の基準で効果が証明されていません。したがって、あくまでも個人が自由に使用するという位置付けです。日本で古くから親しまれてきたドクダミ、ウコンなどは同じ民間薬といわれています。その量をどのくらい飲んだか、どのような効果があるのか等について、一般的には証明されていません。

漢方製剤の特徴をまとめてみると…

- ◎漢方製剤は、さまざまな生薬を複合的に組み合わせた医薬品
- ◎一剤でいろいろな症状を改善したり、和らげたりすることがある
- ◎病態やその人の体質に合わせて、さまざまな漢方製剤が用いられる
- ◎飲んでもすぐに効く漢方製剤と、飲み続けることで徐々に効く漢方製剤がある
- ◎同じ病気でも、発症からの経過日数、症状により用いられる漢方製剤が異なる
- ◎医療用漢方製剤は医師が処方するもので、健康保険の適用がある

※健康保険適用については、各医療機関にお問い合わせください。

漢方に詳しい医師をお探しの場合は、インターネットで

漢方 病院

検索

と入力し、ご検索ください。

会社の概要・株式の状況 (2011年9月30日現在)

●会社概要

本 社 東京都港区赤坂二丁目17番11号
 創 業 1893年(明治26年)4月10日
 設 立 1936年(昭和11年)4月25日
 資 本 金 194.87億円
 従業員数 (単体) 2,290名 (就業人員数)
 (連結) 2,754名 (就業人員数)

●取締役および監査役の状況

地 位	氏 名	担当等
取締役社長 (代表取締役)	芳 井 順 一	
専務取締役 執行役員	久 島 正 史	経営企画室、情報技術部担当
常務取締役 執行役員	田 中 典 裕	医薬営業本部長
常務取締役 執行役員	杉 田 亨	生産本部長
取締役 執行役員	荒 井 聡	人事部長 兼 業務推進部担当
取締役 執行役員	竹 田 秀 一	信頼性保証本部長 兼 ツムラ 研究所、分析センター担当
取締役 執行役員	中 山 照 也	コンプライアンス推進室長 兼 法務部、生薬本部担当
取締役 執行役員	藤 康 範	CSR推進室長 兼 監査室、 経理部、購買部担当
取締役 執行役員	加 藤 照 和	コーポレート・コミュニケーション 室長 兼 秘書室、渉外調査室担当
常勤監査役	森 善 樹	
常勤監査役	湊 幸 男	
監査役	湯 佐 富 治	社外監査役 公認会計士
監査役	野 田 聖 子	社外監査役 弁護士

●連結子会社

会社名	主要な事業内容
株式会社ロジテムツムラ	運送および保管
株式会社クリエイティブサービス	薬局の経営
深圳津村薬業有限公司	原料生薬の調達・選別加工および保管
上海津村製薬有限公司	漢方エキスパウダーの製造および販売
TSUMURA USA, INC.	米国における医薬品開発

●株式の状況

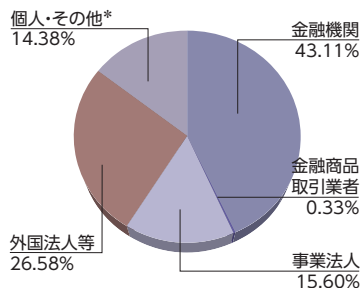
- 1 発行可能株式総数
250,000,000株
- 2 発行済株式の総数
70,771,662株
(自己株式 244,597株を含む)
- 3 株主数
10,224名

4 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	7,214	10.23
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	4,868	6.90
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口9)	2,504	3.55
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,197	3.12
ツムラグループ従業員持株会	1,763	2.50
全国共済農業協同組合連合会	1,582	2.24
第一三共株式会社	1,525	2.16
サ ジ ャ ッ プ	1,466	2.08
大日本住友製薬株式会社	1,092	1.55
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	1,068	1.52

(注) 持株比率は自己株式(244,597株)を控除して計算しております。

〈所有者別株式数分布状況〉



*「個人・その他」には、自己株式244,597株を含めております。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 9:00～17:00 (土日祝日を除く)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご 注 意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループ
〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号
TEL (03) 6361-7101



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。